



国保成東病院

るを得ないということになるかと思えます。

Q どこに頼ればということとは、ネットワークだということですが、国保成東病院がこういう現況ですから、夜間内科の二次救急の受け入れ態勢をお願いに、行動に歩くお気持ちはあるでしょうか。

A 市長 今、そういうような形で考えたことは今迄ございません。そういう必要がありませんというお話しでございますれば、少し考えさせ

ていただいで、なるほどと思う部分がありますので行動しなければいけないと思えます。

Q インターネットに医師確保あるいは保健師、助産師、看護師等が募集されていますけど、応募等はありませんか。

A 市長 二・三の例はあつたらしいですけど、なかなか条件的にも、魅力ある条件を提示できないことで、ごく早い段階で話が進まないという状況です。

Q ●東中学校改築工事について 建設費は予算書に記載されている額は約13億2千万円ですね。この内訳として国庫補助金・特例債・地方債・一般財源の内訳をお聞かせ下さい。

A 教育部長 財源の内訳ですけれど、現在、国の方針が、中国の地震以降大きく変わってきました。交付金と負担金の二つにわかれますけど、交付金については現在ほぼ設計単価に近い額できています。財政課長 特例債は5億1千7百万円です。

Q 入札は何時頃行われますか。

A 教育部長 確認申請の結果がいつ出るかということですが、4ヶ月・5ヶ月はかかると思えます。

Q 入札は本体工事・電気設備工事・給排水工事と分離して入札を行いますか。

A 市長 これは教育部のほうで鋭意検討した結果を、教育部のほうから重要な部分については一括発注をしないと工期で間に合わないだろうということですので。今回は一括の発注が中心になると考えております。

Q 産業振興、また地元の業者育成等で地元で出来るものは地元で発注するのが常識だともいいますがどうでしょうか。

A 市長 基本的にそのようなことが可能である限りは分離発注をさせていただいております。今回の場合には教育部の判断の中で、それでは非常に工期の関係で厳しくなるということですので、一括発注をしたいということですので。

個人質問



八角 公二 議員

Q ●国保成東病院について

九十九里地域医療センター構想が破綻した結果、一億円を超える準備経費が無駄になった。独立行政法人化に向けて準備室が設置されたが、支出される費用に対しての効果を十分精査し、無駄にしないでいただきたい。

A 市長 センター構想の破綻は、結果から見れば行政経費が無駄になった。独立行政法人化は、途中でやめることは考えられない。必要な費用は構成市町と調整していく。

Q 組合を退く市町があるのと聞くが、精算事務等により、独立行政法人化の時期に支障がないか。

A 市長 組合の解散もある内ので、とりあえず二年以内

Q 独立行政法人化と並行して医師の確保を進めていかないと医療サービスや収入の低下をまねく。給与水準だけではなく病院を支える職員や市民の力、周辺の整備等にも配慮して医師が来やすい環境を整えていただきたい。

A 市長 できるだけ競争力の増すように環境を整備し、医師の確保に努めたい。

